

公 表

第 3 0 回技能グランプリ

「壁 装」職種競技課題

下記の注意事項及び仕様に従って、施工図に示す作品を制作しなさい。

1. 競技時間 4 時間 3 0 分

2. 注意事項

- (1) 支給された材料の種類及び数量が「4. 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料は、競技開始前に点検し、異常がある場合は直ちに申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は持参すること。(型紙及び三角定規等は使用しないこと。定尺に図面上の寸法の印をつけているものは使用不可とする。)
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中の服装等は、作業に適したものであること。
- (7) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3. 仕様

- (1) 上張りは、B 面よりも先に、C 面を張ること。
- (2) 下地調整は、横板部（木口及び上下面を含む）のみを行うこと。
- (3) 袋張り用紙は、四つ切り以上とすること。
- (4) 各面の張り仕様は、次表によること。

	仕 様	使 用 材 料	備 考
A 面	<ul style="list-style-type: none"> ・下張は袋張りとし、上張りは布壁紙（2 種類、同柄色違い）で 2 段 2 行の市松模様の張り分け張りとする。（施工図参照） ・周囲は柄の均等決め張り、はぎ合わせは、突き付け張りとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下張り材 てすき和紙（代用石州）及びクラフト紙 ・上張り材 布壁紙（2 種類、同柄色違い） ・糊 澱粉糊 	

B 面	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール壁紙（４種類）の直張りとしはぎ合わせは突き付け張りとする。 ・ビニール壁紙の使用法は４種類の無地を指定寸法、及び指定色順にはぎ合わせて突き付け張りとする。（施工図参照、４．６．７の巾寸法は当日公表） ・ビニール壁紙は、左図の左端に３mmのチリを見て張り、他の三方は決め張りとする。 ・左図の横板図は、下地調整をしたのち直張りすること。 なお、横板の左端木口はＣ面の加工紙で張りくるむ。 ・デコラティブフィルム（１．２）は、上下に張り分け、突き付け張りとする。（施工図参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ・上張り材 デコラティブフィルム（１．２．３） ビニール壁紙（４．５．６．７、無地） ・下地調整材 パテ（速乾性） ・糊 澱粉糊 	
C 面	<ul style="list-style-type: none"> ・下張は袋張りとし、上張りは１．無地（淡色）をＣ面全面に張って、その上に２．無地（濃色）を張る。（施工図参照） ・右図の縁は、Ｂ面に約１０mm張り回し他の三方の周囲は決め張りとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下張り材 てすき和紙（代用石州） ・上張り材 紙壁紙（無地２色） ・糊 澱粉糊 	

４．支給材料

品 名	寸法又は規格（単位：mm）（W=幅・H=丈）	数 量	備 考
A面 布壁紙 1柄 SW2001(シンコール) 2柄 SW2003(シンコール)	2種類同柄色違い 1柄=930W×1300H 2柄=930W×1300H	各 1.3m	
B面デコラティブフィルム 1-PA-046 2-PA-683 3-WG-157	1 巾ナリ 450H（無地・淡色） 2 巾ナリ 450H（無地・濃色） 3 木目 300W×2000H	1枚 1枚 1枚	
B面 ビニール壁紙 4-Y150-1(ニップコーポレーション) 5-Y150-18(ニップコーポレーション) 6-Y150-22(ニップコーポレーション) 7-Y150-26(ニップコーポレーション)	310W×2000H（４～７共通）	各 1枚	
C面 紙壁紙	1 （無地淡色）三・六判 銀れい G10 2 （無地濃色）三・六判 銀れい G46	2枚 2枚	
袋張り（うけ張）用紙	てすき和紙（代用石州） 二・三判	10枚	
ク ラ フ ト 紙	ハترون判	1枚	
パ テ	下塗・仕上げ適当量		各自持参可
接 着 剤	適当量		各自持参可
プ ラ イ マ ー	適当量		各自持参可

5. 使用工具

必要工具類一式を適宜判断の上、選手が持参すること。

競技場に用意のるもの : 接着剤 2 種類
エチレン酢ビ系ボンド、パテ用硬化促進剤
プライマー

6. 競技用設備 (選手 1 名当たり)

品 名	寸法又は規格	数 量
作業板(シナベニア 5.5 mm厚 1 枚共)	三・六判	1
バケツ		1
水おけ		1